



賀 正

1971年元旦

町民の皆様とともに、去り行く年に
思いを浮かべ、明け行く転換の年に
町の将来を考え、覚悟を新たにして
本号をおくります

発行編集 大平 熊加町公館 活版所



大熊の曙

いつ頃から大熊の地に人がすみついたかはわからない。のこされた遺跡からみて八千年前ぐらいい前には熊川沿岸台地や、中屋敷附近に、三〇〇人前後から八〇〇人前後の人々が住んでいたらしい。今から一、九〇〇年前頃には大熊地域でも米作りが始まつたらしくこの時代、いわゆる弥生時代の遺跡は小入野の台地などにのこされている。つゞく古墳時代の遺跡は多く長者原附近にのこつていて、六四六年頃に行われた大化の改新的な遺跡班田収授の法も熊川の地に下六丁、などの条里制あととしてのこつていて、前期封建時代には標葉氏の領地となり、熊川氏、熊氏などの土豪が熊川館や、熊館におつたといふ。後期封建時代になつてからは相馬氏の封土に入り南標葉郷の治下に入つた。

寛永一六年(一、六三九)の大熊全域の産米量は糲で二、四五三石であり、天明三年(一、七八三)の町内全戸数は三〇九戸で、当時佐山沢には戸数なしとある。

天明、天保の飢饉の立て直しのために文化一〇年(一、八一八)から移民政策が始まり野上原開拓の本格的な活動期に入つたが、弘化二年(一、八四五)には相馬全域に二宮仕法が開始され、明治に至つた。

ただし大熊地域には文久三年(一、八六三)に熊、佐山沢に仕法が実施されたが完成を見るに至らなかつた。

明治三十七年(一、九〇四)大野駅が開設され、拓事業が進められ、大正初年に大野駅—大川原道の県道編入によつて本格化した。

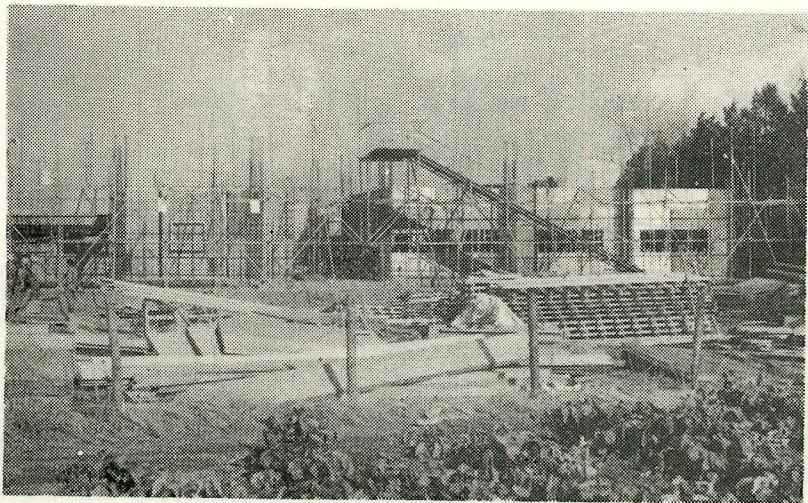
戦後は三度野上原開拓に焦点が向けられ、小塚溜池の完成を期に大きく躍進をみた。

太古以来の大熊町は野上原開拓を軸として進んで来たと云つても過言ではないようだ。昭和三十九年来原子力発電所の誘致を見てからの大熊町は原子力発電所とこれに関連する地域工業化を軸として回転し出した。

そしてそれは世界進化による宿命でもある。一九七一年それは大熊町にとって第二の曙である。(写真は野上原の曙)

写 真 で 見 る

大熊町の変ぼう



◆ 公 民 館

大 小 屋 体 工 事

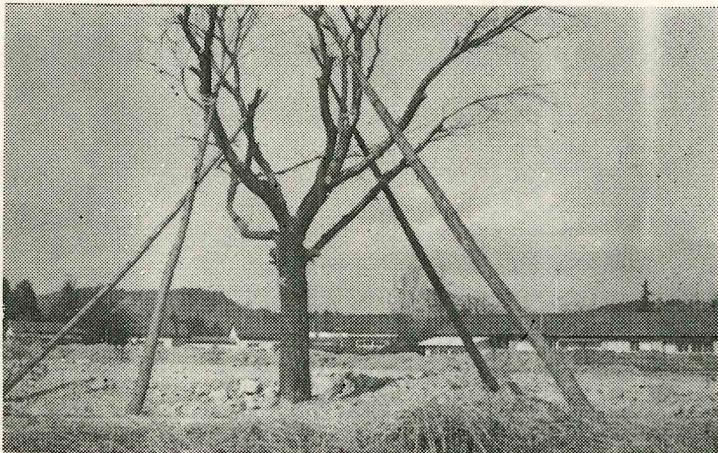
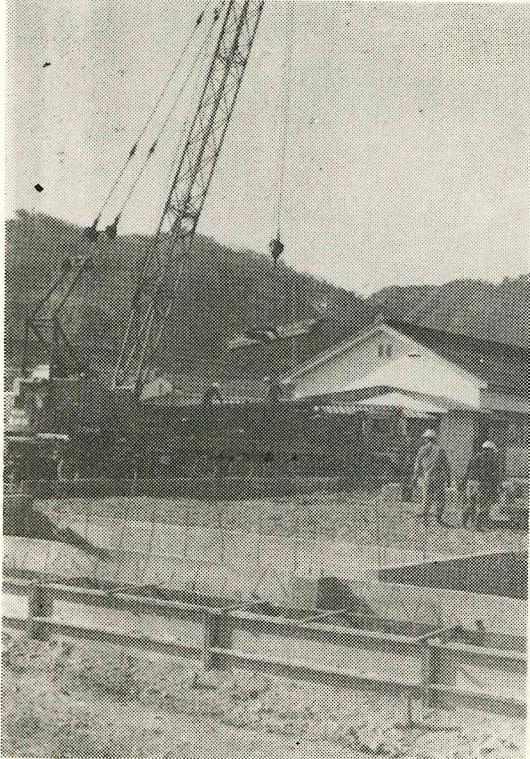
写真下

公民館建築工事は十二月中に一階を終り、一月二十日までに二階を終了して内装に着手する予定。

大野小学校屋内体育場建設工事は泉田組の手で日曜降りの寒風をうけながら三月二十五日完了を目指に進められてい。

大野小学校屋内体育場建設工事は泉田組の手で日曜降りの寒風をうけながら三月二十五日完了を目指に進められてい。

写真下 県立大野病院整地工事=正面の桜は将来の正門=



渡部電気製作所=写真下=



株 式 会 社

渡 部 電 気 製 作 所

福 島 工 場

去る十月二十五日より大字下野上北金谷の地に二つの工場が操業を始めた。

本社は東京にある。従業員は目下二十二名、本社より中川秀明氏が技術指導のため派遣されて配電板の製作にあたっている。

成人式

1月15日10時
受付一自8時30分該当者
自昭25.4.2—至昭26.4.1生れ
(時間厳守のこと)
(簡易な服装のこと)

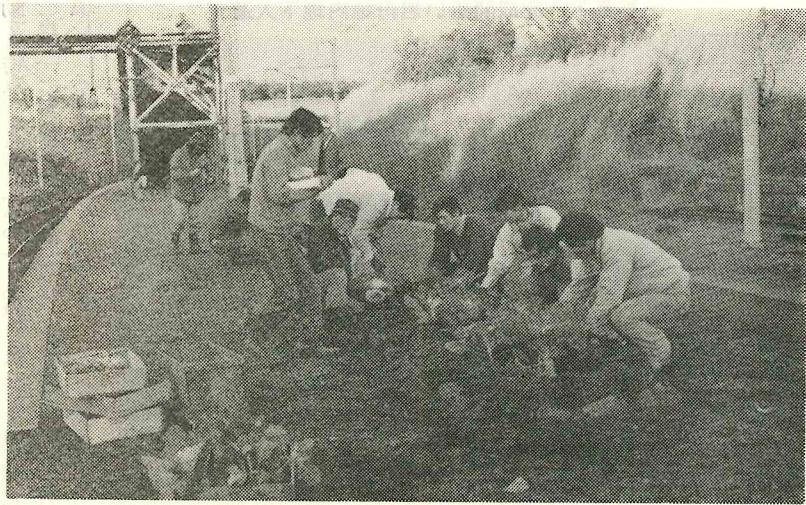
大熊町

青年社会奉仕

大熊町
駅内外美化作業に挑戦する大熊町青年学級のねらいは
「知行合一」にある。

家業に全力を挙げること、自分を愛し社会を愛して奉仕す

こと、この基盤の上に、大熊町の開発に挺進す

主要町道は46年度中に簡易舗装すべきだと思う。
やがて道路網が変更するだらうなど考へる必要はない、町道
道路整備については国県道の全面舗装の一語につきながら、特に果樹園地帯を早くしないと果樹がチリをかぶって悪くなるし、育芽線から停車場へのバス乗り入れをしないと町の総合性がピッタリしない。

熊二区役場通り子供会Xマスパーティ

12月20日

講師 東洋学園 長沼幸一先生
◎婦人学級拡大学級12月5日(土) 12月21日、自13:00
同 「12月5日 町長室」
◎叙勲伝達式福祉年金の支給
者令年金、母子年金、障害年金等の福祉年金は、一月六日から支給されます。年金証書と印鑑持参の上支払い郵便局からお受取り下さい。勳六等旭日単光章 西村正同 太田耕治
暮愁野上地区農業構造改善事業(圃場整備)起工式
12月21日、現地において野上地区圃場整備事業の起工式が行われた。
費用約一、九五〇万円
請負 庄司建設(浪江)

町青年社会奉仕クラブが誕生した。

そこには、実行もしないで批判のみ明けくれる者を許さない青年の純情があり、身をもって社会を改善する若人の情熱が脈々と走っている。

眞上は、ダリヤの球根を貯蔵し、チューリップ(一三〇ヶ)と葉ボタンを植えつけ

る奉仕クラブ員

部落道

部落道の整備については先ず部落で一應考えて整備計画を構する必要があると思う

今私達に必要なのは整備計画と実行だけなのだ。

課目 しつけは自分で

◎熊二区役場通り子ども育成会

12月20日 子どもたちのクリスマスを兼ねて熊二区公民館で開催した。子供達三六名、育成会員十数人が集まり盛会であった。

むなしさや冬の流れる白雲に。人の世はかなしきものよ落葉降る。枯葉やみな何事もみ仏に。

12月21日、自13:00
同 「12月5日 町長室」
◎叙勲伝達式

写真下保育所=午睡からさめて



前号の公民館報に農商一体の定休日を望むという意見がでていたので、町民の声を聞いてみた。

Aこれは望ましいことであるが、現在の農家の九割は兼業農家なので、日曜祭日が

B私は農家の嫁で会社に勤め

農家の働き日となっている現状である。したがって日曜の公休日については今所時期尚早の感がある。

C結論として私は提案したい農家の休みを一律にきめるのでなく、農閑期の十二月から三月頃までは農商一体の休日としては如何なものでしょうか。農休を定める方々に一考をわざらわしたい。（一部落公民館長）

何とかならないか

犬の放し飼い

館報で何回も犬の放し飼いについて論じられたが、一向によくならないばかりか、この頃は犬の天国の観さえある五、六匹の犬の集団が自由に闊歩しているのも珍らしくない。

放し飼いは処罰されると聞いたが、処罰された人はいな

い。この際保健所にたのんで一齊に野犬狩りを行つて放し飼いを一掃したいものである。

（大公方）



ている。農家の休日にも休めないので、休みはお盆と正月ぐらいのものである。たまには日曜日に家族そろって休みたいと思う。

には日曜日に家族そろって休みたいと思う。

小さな善意

感心な学生

一老婆が大きな荷物を持つて大野駅に降りた。荷物がなくてきたこの老人が跨線橋を

越すのは容易でないのに、この荷物を持つてはと思うていたら双農高の男生徒が、この荷物をもつてあげた。彼は改札口を出ると、老婆のお札のことばも聞かずに友人を追つて走っていった。

（若い女）

ドブさらえ

十二月のある朝、側溝のドブさらえをして奉仕している二人の人を見た。朝の出勤前の貴重な時間をつぶして奉仕しているこの人たちに心中でお礼のことばを述べた。

（通行人）

はき物を揃えま

しよう

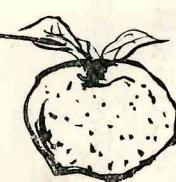
先日大野病院に友人の見舞にいた。玄関に入ると、はき物がぬきすてられてあった。

私はそれをキチンと揃えて入っていた。用事が終つて帰る時、はき物は難堪されてしまった。後から来た人のはき物も揃えてあつた。私は自分の行

（住宅居住者）

為の無駄でないことを知つて喜んだ。私は病院にゆく度にそれをお返している。いまにぎつとみんな揃えてしまったことを楽しむにしながら。（老人）

自転車置場附近に街灯を



駅近くに自転車置場を設けていただきたいことは誠に有難いことです。しかし夕方遅く帰ると自分の自転車はどれかわからない。そして通路も悪くて暗くて、物にぶつかって思わずがをするかも知れない。特に雨があるとどうにもならない。町長さん。何とか街灯をお願いします。

（学生）

町営住宅に門標を

用事があつて町営住宅に行つた。Aは大きな門標をかけていたのですぐ用がたせた。Bは何もないで大へん苦勞しながらがさねばならなかつた。門標は自分のためのものではない。用事のある人のためぜひ掲げておきたいものである。郵便屋さんは特に困る」と聞いている。

（学生）

お願い

防風設備を

私は佐山沢町営住宅に住んでいる一人であるが次のことをお願いしたい。

これから西風がはげしく吹くと畠の土が家中に入つてこまる。それを防ぐ方法を考えてもういたい。

（二町人）

スキ教室開催

大熊町青年会では来る昭和四十六年一月十五日（土）までの二泊三日間国立舞鶴青年の家にて研修会を兼ねてスキー教室を開催いたします。

これには青年会員五十名が参加する予定です。